

# ソチ五輪「氷上の熱闘」

を待らせ夜な夜な接待を繰り返した。韓国はその様子を逐一写真に収めて念を押していたといいます。

ソウル五輪ではボクシング競技の審判が、ソウル五輪組織委員会から現金を受け取る事件も起きている。スポーツライターの玉木正之氏も、その体質をこう指摘する。

「韓国はIOC委員に『ソウルに来てください』と言つて、ファーストクラスのチケットを送りつける。突然ですから委員は行けない。でも韓国は送り続ける

て幼少期からのマネージャーであり、フィギュアを独学で学んだコーチでもあります。ジュニア時代は、浅田真央に負けることが多かったのですが、パク・ミヒはジュニアのときもヨナの「ヨナは〇六年五月に新シーズンの振り付けをしてもらうため、トロントの振り付け師、デヴィッド・ウィルソンを訪ねています。そのとき、当時プロとしてシヨーで滑っていたブライア

大きな転機となつたのが、〇六～〇七シーズンからカナダのブライアン・オーサーに指導を受けるため、父と姉を韓国に残し、母とヨナでトロントに移つたことだ。

した。しかし、オーサーはヨナを『現在のフィギュアスケートに必要なのは新たに難しいジャンプを身につけることではない。すでに（ヨナは）高度な連続三回転ジャンプが出来ている。その質を高めることこそが勝利につながる』と諭して今持っている技術を磨いて、加点をもらうやり方を貫いた。そして採点システムを研究して、高得点を出せるプログラムを作りました。

例えば当時のルールではヨナのトリプルルッツ+トリプルトループのコンビ

トリプルアクセルは教えなかつた



出身地にある「キム・ヨナストリート」。

「ここには主に医者や弁護士などが投資していますが、ヨナもショッピングモールの中の三店舗を一〇年に購入しています。三店舗で三十億ウォン（約三億円）。今は洋服店と食堂にテナント貸ししています」（地元の不動産業者）

金メダリストに加え会社社長の肩書きも手に入れたヨナ。そんな彼女の最終目標は、国際オリンピック委員会（IOC）の委員にな

「一二一年七月の復帰会見で、ソチ五輪での引退を公言し、同時に『その後はIOC選手委員」とことだ。

「一派」のことだ。

の後継者も身内から出した  
いと考えている。

ポンサーになり、IOCへの影響力を強化していくます。スポンサー料は四年間で一億ドルとも言われます。そこに、平昌五輪招致という大きなファクターも入ってきた。〇八年にイ・ゴンヒ氏は脱税で有罪判決を

もIOC選手委員への大きな前進になる」(同前)

して日本でも知られるチャン・ドンゴンらも住む超セレブ物件だ。

バンクーバー五輪後、ヨナには不動産投資会社「生気地帯」の社長の肩書きも加わっている。その社長として、ソウル中心部から車で一時間あまりの仁川市の松島のショッピングモールに投資している。

「ここには主に医者や弁護士などが投資していますが、ヨナもショッピングモールの中の三店舗を一〇年に購入しています。三店舗で三十億ウォン（約三億円）。今は洋服店と食堂にテナント貸ししています」（地元の不動産業者）

金メダリストに加え会社社長の肩書きも手に入れたヨナ。そんな彼女の最終目標は、国際オリンピック委員会だ。

に向かって挑戦する」と発表しました。オリンピック開催地の投票権を持つIOC委員の定員は百十五名。エリザベス女王の長女のアン王女など王族も多く、IOC委員になるとどの国もビザ無しで入国でき、国賓級の扱いをうける、究極の名誉職なのです」(前出・日本本人スポーツライター)

実はこの「IOC委員に向かって挑戦する」という動きのなかにこそ、ヨナの「力の源泉」が透けて見えるという。韓国のスポーツ紙デスクが語る。

「IOC委員を巡っては、ヨナ、サムソン、IOCという三者のトライアングルが出来ているのです」

サムスンとはサムスン電子を中心に韓国のGDPの約二〇%を叩き出す、韓国

氏はサムスン会長のイ・ゴンヒ氏の娘婿なのです。サムスンエンジニアリングの社長も務めていて、亡くなった父は（韓国の有力新聞）東亜日報の会長で、実兄が現社長です（前出・韓国スポーツ紙記者）

実は韓国の財閥トップは、誰もがIOC委員になることが夢なのだという。「財閥のトップや御曹司たちは有り余るカネを持って、IOC委員を務めている。

「イ・ゴンヒ氏は九六年にIOC委員に就任してい、八年後委員の三年と

いるため、あとは名譽が欲しくてこそってIOC委員を目指す。そのために五輪でメダルが有望なアマチュアスポーツに投資して、その連盟会長になるというのが常套手段になっています。サムスンはスケートを牛耳っていて、現代グループはアーチェリー、卓球は韓進グループ（大韓航空）といった具合です」（韓国のスポーツ団体関係者）

受けますが、当時の李明博大統領から、平昌五輪招致のために恩赦を受けて、IOC委員も続けた。五輪招致のため、イ・ゴンヒ氏はIOC委員全員に会って支持を訴えた。一方、キム・ヨナはIOC総会でスピーチに立った。ヨナは流暢な英語で『IOC委員の皆さん、私の夢を実現する機会を与えていただき、ありがとうございます』とIOC委員たちに感謝の弁を述べていました』(同前)

「志』と同じくするサムソンとヨナはまさにタッグを組んでIOC関連の活動を行ってきたのだ。

「サムソンにとつて、キム・ジェヨルとキム・ヨナの二人がIOC委員になることが理想です。ソチ五輪で

「イングも飛躍的に上達したのです」（同前）

その後、細かなルール改正でトリプルアクセルの基礎点が上がつたりしたが、ヨナがこの戦略を変えるとはなかつた。

「もともとヨナの演技は中央に比べて技術的に難しい構成になつていない。しかし、ジャンプなど、その要素の出来映えを評価されても、大きな加点が与えられることで高得点をあげてきた。バンクーバー五輪ではショートとフリーの全ての要素で加点をもらつてい

33